

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マルコ水産株式会社本社工場新築	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市越後島宇越後島438	構造	S造
用途地域	用途地域 指定無し、防火・準防火地域	平均居住人員	70 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年9月24日
敷地面積	8,067 m <sup>2</sup>	作成者	増田 吉則
建築面積	3,172 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,051 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 89%  
③上記+②以外の 89%  
④上記+ 89%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の環境品質については、快適で維持管理のしやすい執務空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。</li> <li>・建築物の環境負荷については、高性能な外皮や設備システムを採用して環境負荷の低減に取り組んでいる。</li> </ul>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>全館を禁煙とし内装材には化学汚染物質の少ない材料を使用している。</p> <p>また事務所空間は騒音対策や照明設備の性能などに優れており、快適な執務空間となるよう向上に努めている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>仕上材や設備配管は耐久性のあるものを採用している。</p> <p>また十分なリフレッシュスペースやゆとりある空間情を確保しており、機能的で耐用性に優れた空間となっている。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>植樹帯を積極的に設け、建築物の形態や色彩などに配慮するなど景観向上に努めている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>外皮の熱性能の向上に努め、LED照明など高効率な設備機器を採用してエネルギー消費の削減を図っている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>リサイクル材や有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>大気汚染防止に努め、駐車場及び廃棄物対策について計画的に対応しているなど環境負荷の低減に取り組んでいる。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される